

Raymonda

The National Ballet of Japan



Photo by Satoshi Yasuda

新国立劇場バレエ団 ライモンダ

2021.6.5 (土) 14:00 / 6 (日) 14:00 / 11 (金) 14:00 / 12 (土) 14:00 / 13 (日) 14:00

芸術監督: 吉田 都 振付: マリウス・プティパ 改訂振付・演出: 牧 阿佐美

音楽: アレクサンドル・グラスノフ 美術・衣裳: ルイザ・スピナテリ 照明: 沢田祐二 指揮: アレクセイ・バクラン 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Artistic Director: YOSHIDA Miyako Choreography by Marius PETIPA Production by MAKI Asami

Music by Alexander GLAZUNOV Set and Costume Designer: Luisa SPINATELLI Lighting Designer: SAWADA Yuji Conductor: Alexei BAKLAN Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / E-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

古典の美しさを格調高い舞台で

『ライモンダ』はアレクサンドル・グラズノフの音楽が大変美しい中世十字軍の時代の物語で、プティパ最後の傑作といわれる古典バレエです。新国立劇場では、この格調高い古典名作を、当時英国ロイヤルバレエで活躍していた吉田都芸術監督などを主演ゲストに招き2004年に初演。牧阿佐美の格調の高い振付と演出、現代的でスピード感あふれるスペクタクルな舞台展開、そしてルイザ・スピナテッリの色彩が印象的な衣裳・舞台美術は大変評判をよび、朝日舞台芸術賞を受賞。また、08年2月にはジョン・F・ケネディ・センター主催の日本フェスティバルで上演され、好評を博しました。

ものがたり

十字軍の遠征に出ているジャン・ド・ブリエンヌと密かに婚約の約束をしているライモンダは、再会を夢にみるほど彼の帰還を待ちわびている。サラセンの王アブデラクマンも、美しいライモンダを憎からず思っている。ライモンダの叔母である伯爵夫人の館で開かれた宴に招待されたアブデラクマンは宝石や数々のめずらしい踊りで彼女の気を引こうとするが、そこにジャン・ド・ブリエンヌが登場して、彼女をめぐる決闘となる。



2009年公演より

撮影：瀬戸秀美

見どころ

幻想的な色彩の美術で描かれる、 中世の華やかな歴史絵巻

『ライモンダ』の舞台は中世のフランス・プロヴァンス地方。ライモンダの婚約者ジャン・ド・ブリエンヌはプロローグで十字軍遠征へ向かいます。十字軍の時代を背景に、まるで絵画を見ているような、西洋と東洋双方の中世的色彩に溢れた美術のなかでドラマが展開していきます。華やかな絵巻物を紐解くような舞台がお楽しみいただけます。



スピーディーなストーリー展開と幕ごとに異なるテイストを堪能



『ライモンダ』は第1幕ではクラシック、第2幕ではキャラクター・ダンス、第3幕ではハンガリー風と幕ごとに異なるテイストの踊りを味わえ、スピーディーに展開するドラマと共に、踊りの醍醐味もふんだんに盛り込まれています。中でも、1幕、2幕ではライモンダを巡る恋の三角関係のドラマが運ばれていくのに対し、第3幕では有名な「グラン・パ・クラシック」で8組の男女カップルを従えたライモンダとジャンによる豪華絢爛な踊りが披露され、踊りの見せ場として最高潮に盛り上がります。

ライモンダへ情熱的に愛を伝える サラセンの王・アブデラクマン

ジャンの恋敵として登場するサラセンの王・アブデラクマン。牧阿佐美版ではこのキャラクターを、無理やりライモンダを略奪しようとする悪役ではなく、ライモンダに恋焦がれてる1人の男性として描いています。それによっていつの時代にも通ずる、男女の普遍的な恋愛模様としてストーリーが進んでいきます。

優しく端正な騎士であるジャンと、野性的で愛情をストレートに表現するアブデラクマンという異なる魅力をもつ男性2人は、立場や人種は違っても、心からライモンダを愛しているということは変わりなく、ご覧の方も感情移入しやすいキャラクター設定となっています。



スタッフプロフィール

【振付】 マリウス・プティパ (Marius PETIPA)



1818年フランス・マルセイユ生まれ。舞踊家、舞踊教師、振付家。13歳のときに父の作品で舞台デビューを果たし、47年にサンクトペテルブルグの帝室ボリショイ劇場に招かれた。55年からは父の後任として、劇場付属バレエ学校で、踊りと得意としていたマイムの教師を兼任している。62年に振り付けた『ファラオの娘』が大成功し、副バレエ・マスターに就任。69年にはサン＝レオンが退任したため、首席バレエ・マスターとなる。以後『ドン・キホーテ』(1869)、『ラ・バヤデール』(1877)、『眠れる森の美女』(1890)、『白鳥の湖』(1895、イワーノフと共作)、『ライモンダ』(1898)など、数々の傑作を残しロシア・バレエの伝統を確立した。1903年初演の『魔法の鏡』まで、改訂振付を加えれば70以上の作品をロシアで振り付けている。1910年死去。

【改訂振付・演出】 牧阿佐美 (MAKI Asami)



日本バレエ界の草分けの一人、橘秋子の長女として生まれる。4歳で初舞台を踏み、20歳の時に米国に留学、A.ダニロワ、I.シュヴェツツオフに師事。その後、橘バレエ団を基礎に、橘秋子と共に牧阿佐美バレエ団を設立し、プリマ・バレリーナとして数々の作品に主演。1960年には、日本で初めて外国人ダンサーを相手役に全幕バレエ『コッペリア』を踊り、絶賛を浴びる。橘秋子の没後はその遺志を継いで舞台を退き、牧阿佐美バレエ団主宰者、橘バレエ学校校長となり、その卓抜した指導力で、日本を代表する舞踊手を数多く世に送り出す。また振付家としても活躍する一方、海外より多数の著名な指導者や振付家を招き、国際共同による質の高い舞台制作を手がけている。ニムラ賞、芸術選奨文部大臣賞、東京新聞舞踊芸術賞、舞踊批評家協会賞、橘秋子賞特別賞を受賞。1996年秋には、多年にわたり数多くの作品を振り付け、発表し続けた功績により紫綬褒章を受章。2004年2月フランス政府から芸術文化勲章シュヴァリエを受ける。08年

5月には日本人として初めてブノワ賞の審査にあたった。08年に文化功労者に選ばれた。振付家としての主な経歴は、1965年『火の鳥』、67年『眠れる森の美女』をI.シュヴェツツオフと共同振付して主役を踊り、衣裳デザインも自ら手がけて上演した。68年には振付家として本格的にデビューし、黛敏郎作曲『ブガク』、芥川也寸志作曲『トゥリップティーク』、團伊玖磨作曲の『シルクロード』を振付して注目された。95年に『ロメオとジュリエット』、98年に『椿姫』をA.プリセツキーと共同振付して絶賛を浴びた。新国立劇場バレエ団への全幕物の演出・改訂振付第1作目として2000年11月に『ラ・バヤデール』を手掛け好評を博した。第2作目は04年10月に『ライモンダ』全幕改訂振付、この作品で朝日舞台芸術賞を受賞した。第3作目に06年11月に『白鳥の湖』を改訂振付・演出し、高い評価を得た。07年には新国立劇場完全オリジナルの『椿姫』の振付・演出にあたり、第7回朝日舞台芸術賞を受賞。1999年から2010年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、ジョン・F・ケネディ・センター公演(「ジャパン・フェスティバル」参加)とモスクワ・ボリショイ劇場公演『椿姫』の海外公演を大成功に導くなどバレエ団の育成と発展に大きく寄与した。現在、新国立劇場バレエ研修所長。

【美術・衣裳】 ルイザ・スピナテッリ (Luisa SPINATELLI)



イタリア・ミラノ生まれ。ブレラの美術学校で舞台美術を学んだ後、1965年ミラノ・スカラ座で舞台美術家としてデビュー。衣裳デザイナーとしてミラノ・ピッコロ劇場『セツァンの善人』、ミラノ・スカラ座オペラ『アッティラ』『運命の力』『カルメン』『アイダ』など、バレエではトリノ・レヅジョ劇場『ロメオとジュリエット』、ヴェローナ野外劇場『くるみ割り人形』などを手がける。近年はミラノ・スカラ座バレエ『赤と黒』、ベルリン州立歌劇場『白鳥の湖』『くるみ割り人形』、パリ・オペラ座バレエ『パキータ』、英国ロイヤルバレエ『眠れる森の美女』などを手がける。ローラン・プティ振付の『マ・パヴロヴァ』『恋する悪魔』『スペードの女王』などに参画。新国立劇場バレエでは『こうもり』『ライモンダ』『椿姫』の舞台美術・衣裳を手がける。89年レオニード・マシオン賞、05年橘秋子賞舞台クリエイティブ賞受賞。

【照明】 沢田祐二 (SAWADA Yuji)



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『くるみ割り人形』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレステイア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

【指揮】 アレクセイ・バ克蘭 (Alexei BAKLAN)



ウクライナ国立歌劇場指揮者。1987年、キエフ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』、また、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』（リムスキー＝コルサコフ）、『森の詩』（スコルリスキー）などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。ベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシーニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003年、06年にはメキシコで、世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシュモ》で指揮を務めた。06年にザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、メキシコシティ

国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演（05、06、07年）に参加。新国立劇場バレエ団では08年以降、『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント』『大フーガ』『テーマとヴァリエーション』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』などで指揮を務めている。

配役・プロフィール

2021年 6月	5日(土) 14:00	6日(日) 14:00	11日(金) 14:00	12日(土) 14:00	13日(日) 14:00
ライモンダ	米沢 唯	小野絢子	柴山紗帆	木村優里	米沢 唯
ジャン・ド・ ブリエンヌ	福岡雄大	奥村康祐	渡邊峻郁	井澤 駿	福岡雄大
アブデラクマン	中家正博	中家正博	速水涉悟	速水涉悟	中家正博

【ライモンダ】



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村 優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリストに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。



柴山 紗帆 SHIBAYAMA Saho <ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデル』『ドン・キホーテ』、F.アシュトン『シンデレラ』『こどものためのバレエ劇場『しらゆき姫』』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。

【ジャン・ド・ブリエンヌ】



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、13年『ドン・キホーテ』にて主役デビュー。16年よりプリンシパル。古典作品やD.ピントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ピントレー『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞。



渡邊峻都 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、中村恩恵『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。

【アブデラクマン】



中家正博 NAKAYA Masahiro <ソリスト>

大阪府出身。法村友井バレエ学校、ワガノワバレエ学校を経て、2010年牧阿佐美バレエ団に入団。プティ『ノートルダム・ド・パリ』のプロロ役に抜擢され、『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ジゼル』に主演。15年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、16年『ドン・キホーテ』で主役のバジルを踊った。またF.アシュトン『シンデレラ』王子、P.ダレル『ホフマン物語』リンドルフ、W.イーグリング『くるみ割り人形』ドロッセルマイヤー、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ティボルト、『マノン』ムッシューG.M.、M.フォーキン『ペトルーシュカ』ムーア人など様々な役を演じている。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <ソリスト>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団、『くるみ割り人形』ロシアの踊り、 balan sin 作品などを踊る。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、『ラ・バヤデル』黄金の神像、『くるみ割り人形』スペイン、D.ピントレー『アラジン』ランプの精ジーン、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ、『マノン』乞食のリーダー、森山開次『竜宮 りゅうぐう』サメ用心棒などを踊る。20年『ドン・キホーテ』で主役デビューを果たし、その高い跳躍力や若々しい演技で注目を集めた。

公演概要

2020/2021 シーズン

新国立劇場バレエ団「ライモンダ」

Raymonda

芸術監督	吉田 都
振付	マリウス・プティパ
改訂振付・演出	牧 阿佐美
音楽	アレクサンドル・グラズノフ
美術・衣裳	ルイザ・スピナテッリ
照明	沢田祐二
指揮	アレクセイ・バクラン
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
出演	新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2021年6月5日（土）14:00

2021年6月6日（日）14:00

2021年6月11日（金）14:00

2021年6月12日（土）14:00

2021年6月13日（日）14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演 60 分前、客席開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 3 時間（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/raymonda/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	13,200 円	11,000 円	7,700 円	4,400 円	3,300 円	1,650 円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2021年5月9日（日）10:00～11日（火）

バレエ／ダンス先行メンバーズ販売期間：2021年5月10日（月）10:00～11日（火）

一般発売日：2021年5月15日（土）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1階1列～3列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1階1列～3列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【Pコード：500-246】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【Lコード：39965】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

吉田都芸術監督×松本幸四郎丈 スペシャル対談が『ライモンダ』公演リーフレットにてご覧いただけます！

この度、舞踊芸術監督・吉田都と歌舞伎役者・日本舞踊家の松本幸四郎丈のスペシャル対談が実現！

新国立劇場バレエ団は『ライモンダ』が、幸四郎丈は構成・演出・出演を務める第4回 日本舞踊 未来座=祭 (SAI) = 『夢追う子』が、2021年6月に行われます。それぞれに本番を控えるふたりのスペシャル対談を『ライモンダ』公演リーフレットにてお届けします。それぞれの公演のみどころから日本舞踊とバレエの共通点、そして舞台芸術という伝統を受け継いでいくことまで、多岐にわたる話題について語り合っています。



公演リーフレットは『ライモンダ』にご来場いただいた皆様は無償で配布しております。ぜひ、劇場でのご観劇と併せてお楽しみください。

【第4回 日本舞踊 未来座=祭 (SAI) = 『夢追う子』公演情報】

会場：国立劇場小劇場

日時：2021年6月4日（金）15:30／19:00

6月5日（土）11:00／14:30／18:00

6月6日（日）12:00／15:30

料金：全席指定 8,000円（税込）

構成・演出：松本幸四郎

振付：水木佑歌、西川大樹、若柳里次朗、花柳大日翠

出演：松本幸四郎

泉秀彩霞、岩井寛絵、尾上博美、尾上紫、勝見嘉之、中村光都靖、

西川一右、西川扇里治、西川扇重郎、花ノ本寿、花柳曄小菊、

花柳喜衛文華、花柳邦秀雅、花柳秀衛、花柳寿之真瑠、花柳輔悠奈、

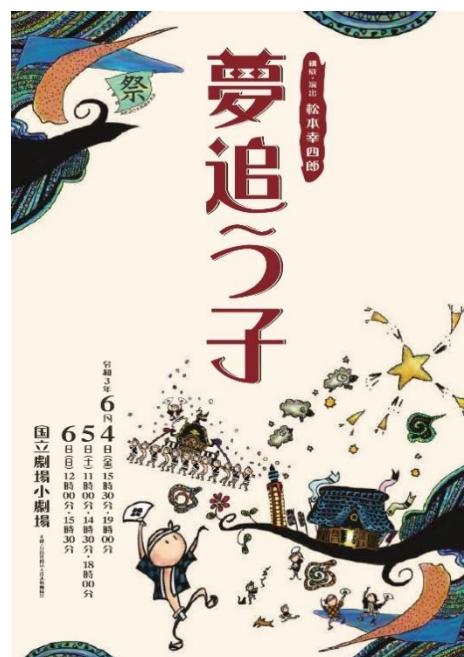
花柳寿々彦、花柳寿万籠、花柳寿美柚里、花柳撰月華、

花柳雅あやめ、花柳真珠李、花柳基はるな、坂東扇弘、坂東信兎音、藤蔭里燕、藤間勘楚恵、藤間晃妃、

藤間皓也、藤間翔央、藤間笙三郎、藤間扇里、藤間涼太郎、松島昇子、松本幸雅、松本幸凜、水木歌蓮、

水木紅耶、水木都亜歌、水木佑阿、吉村輝洸、若見匠祐助、若柳杏子、若柳弥天、若柳佑輝子、若柳勒彩

（50音順）



公式サイト：<https://www.nihonbuyou.or.jp/performances/detail/351>